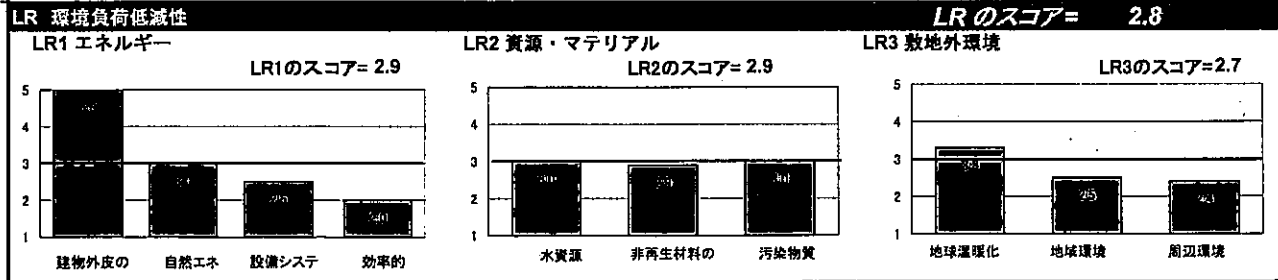
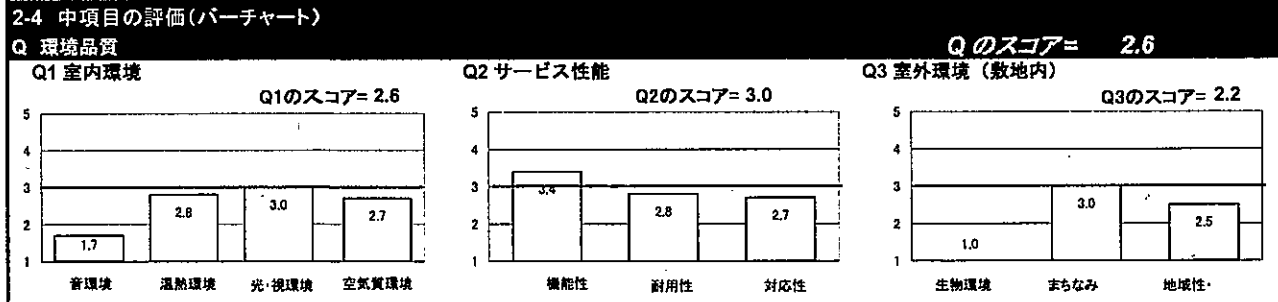
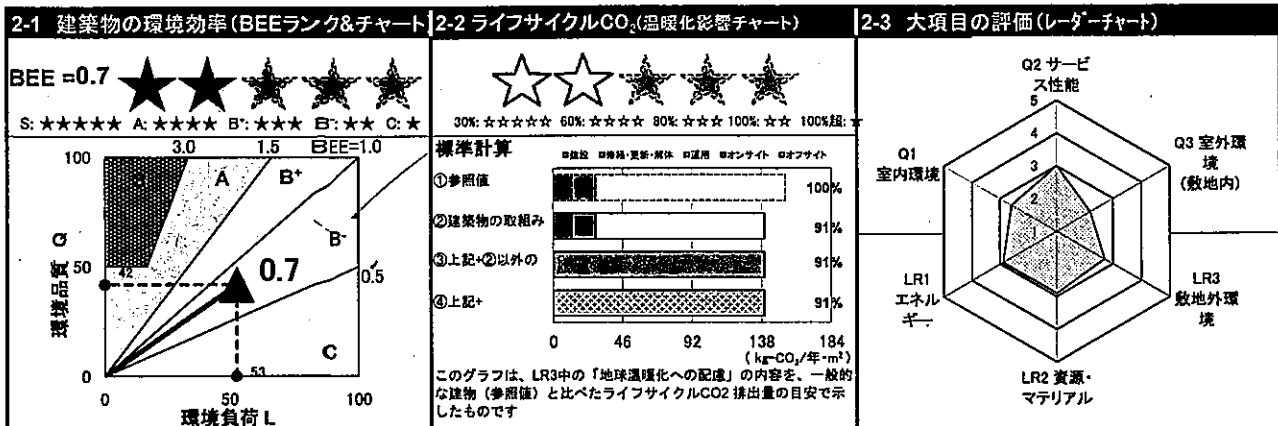


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人大樹会 やすらぎ苑新	階数	地上4F
建設地	京都府舞鶴市北浜町3番10	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、準防火	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年4月22日
敷地面積	2,256㎡	作成者	木田
建築面積	1,360㎡	確認日	2018年4月22日
延床面積	4,014㎡	確認者	木田

外観バース等  
 図を貼り付けるときは  
 シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・機能性及び居住性に配慮した設計		
<p>Q1 室内環境</p> <p>・温熱環境に配慮</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・機能性や使いやすさに配慮</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・まちなみ・景観への配慮</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・建物外皮の熱負荷抑制に配慮</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水に配慮 ・リサイクル材の使用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・大気汚染防止に配慮</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される